

2018年度保護者アンケート調査結果報告

1 調査概要

- ・調査対象：学部4年生の保護者 6,094名
- ・調査時期：2018年11月～2019年1月
- ・調査方法：調査票を用いた無記名式による調査
調査票は、保証人住所宛に郵送し、返信用封筒（切手不要）にて回収
- ・有効回答数：1,578件（回収率：25.9%）
【参考】2017年度：1,577件（回収率：24.5%）
2016年度：1,281件（回収率：21.4%）
2015年度：1,289件（回収率：22.0%）
- ・回答者の内訳：母親61.3% 父親37.0% その他1.7%

2 調査結果

2.1 法政大学および入学学部に対する満足度

図2.1.1～図2.1.2は、「現時点で、法政大学および被保護者の入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する肯定的回答（「満足している」＋「やや満足している」）の経年推移を示している。

2018年度の大学満足度は前年度より2.9ポイント上昇の90.9%、学部満足度は前年度より5.1ポイント上昇の81.4%である。いずれも、過去3カ年度に比べ肯定的回答の割合が高い。

図2.1.1 法政大学に対する満足度（経年推移）

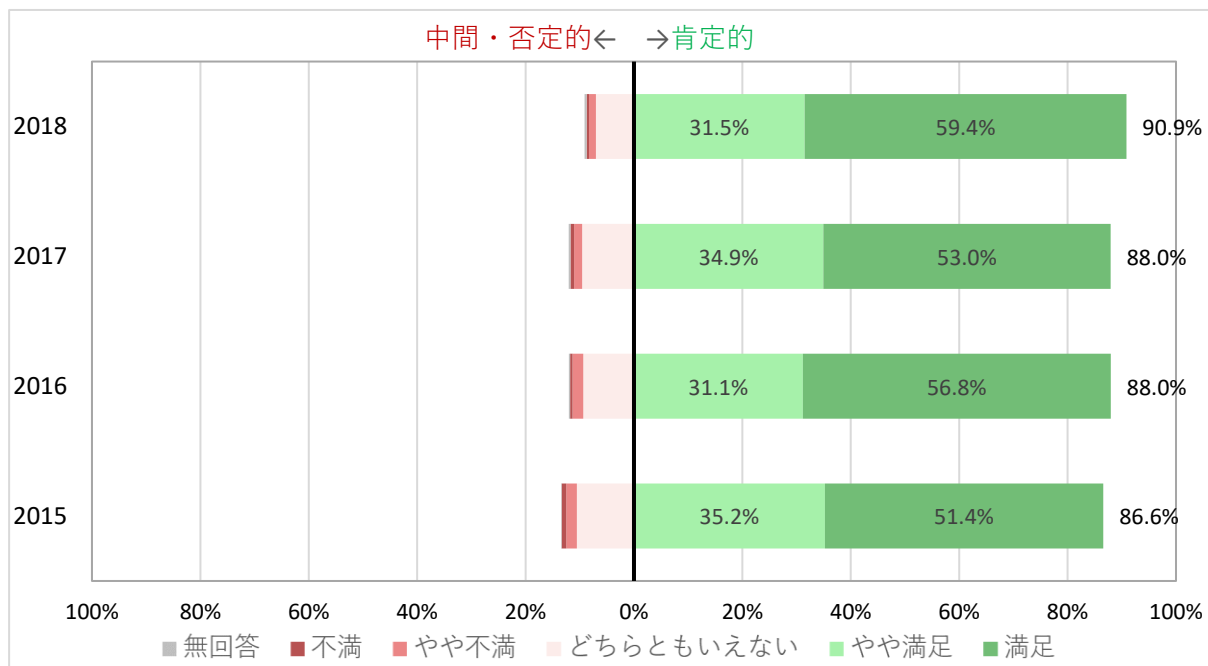
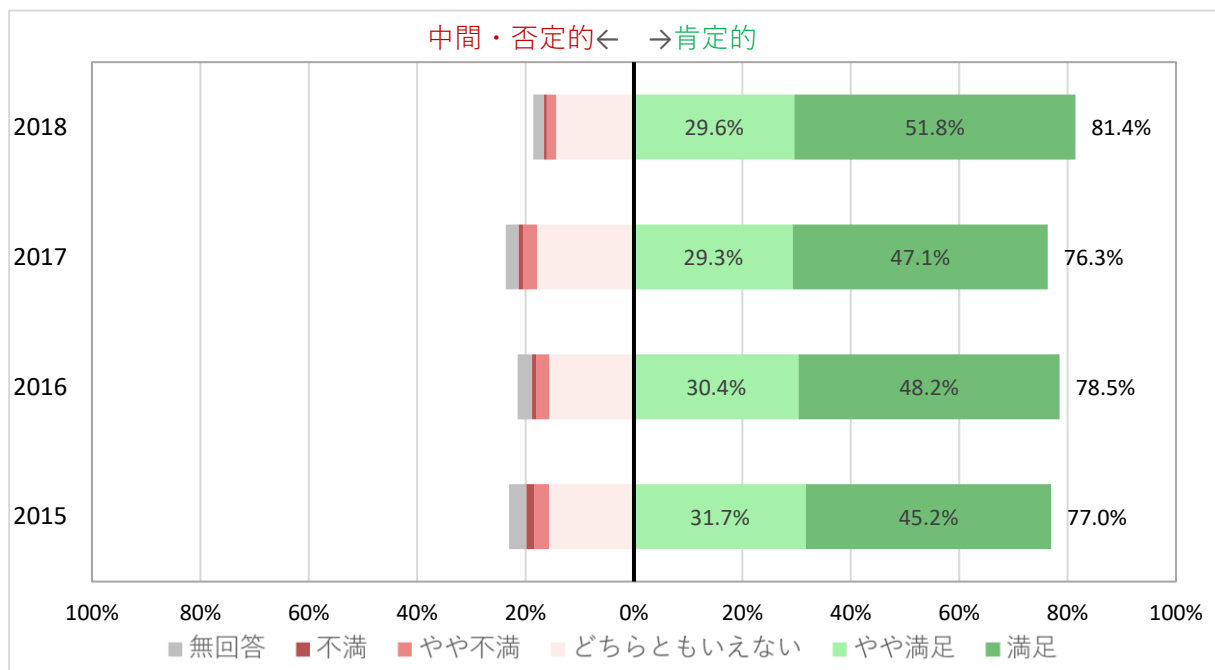


図 2.1.2 学部に対する満足度（経年推移）

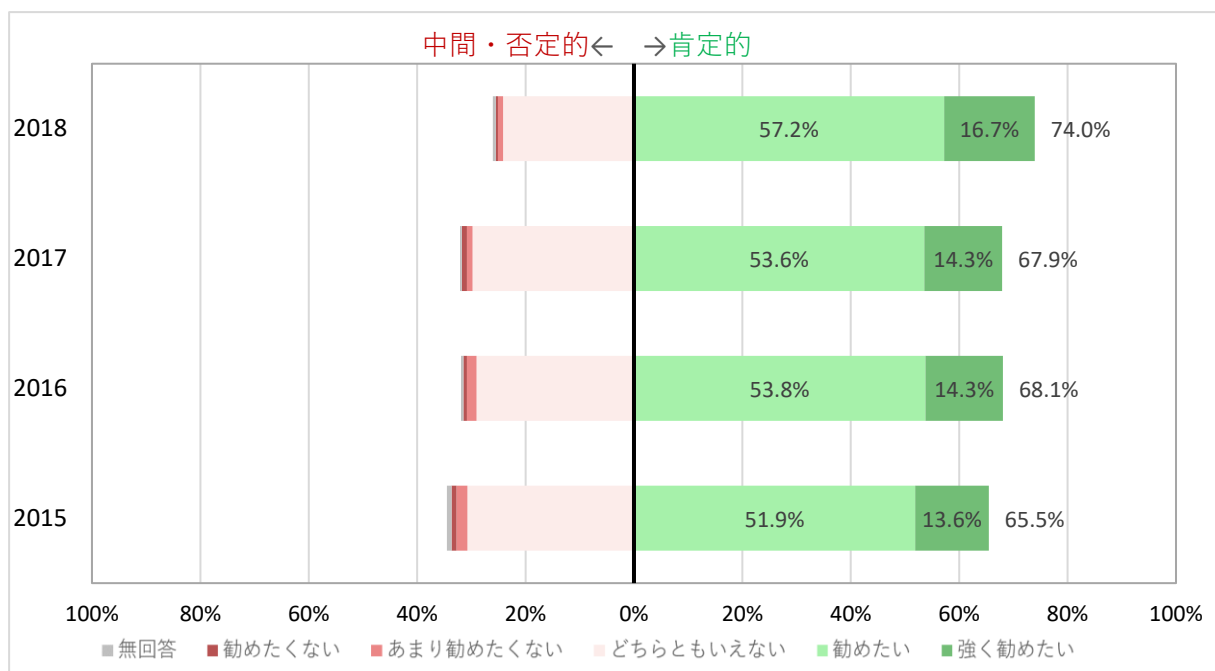


2.2 法政大学を勧めたいと思うか

図 2.2 は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」との質問に対する肯定的回答（「強く勧めたい」＋「勧めたい」）の経年推移を示している。

2018 年度は前年度より 6.1%ポイント上昇し 74.0%であり、過去 3 カ年度に比べ肯定的回答の割合が高い。

図 2.2 法政大学を勧めたいか（経年推移）



2.3 大学での授業や活動を通して身につけた能力

図 2.3.1～図 2.3.7 は、「被保護者は大学での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができたと感じますか」との質問に対する各項目の肯定的回答（「そう思う」＋「いくらかそう思う」）の経年推移を示している。

2018 年度の結果のみを見ると、「自己判断能力」（82.7%）が最も高く、「コミュニケーション能力」（80.5%）、「チームワーク力」（74.5%）と続く。

図 2.3.1 身につけた知識・能力（2018 年度 降順）

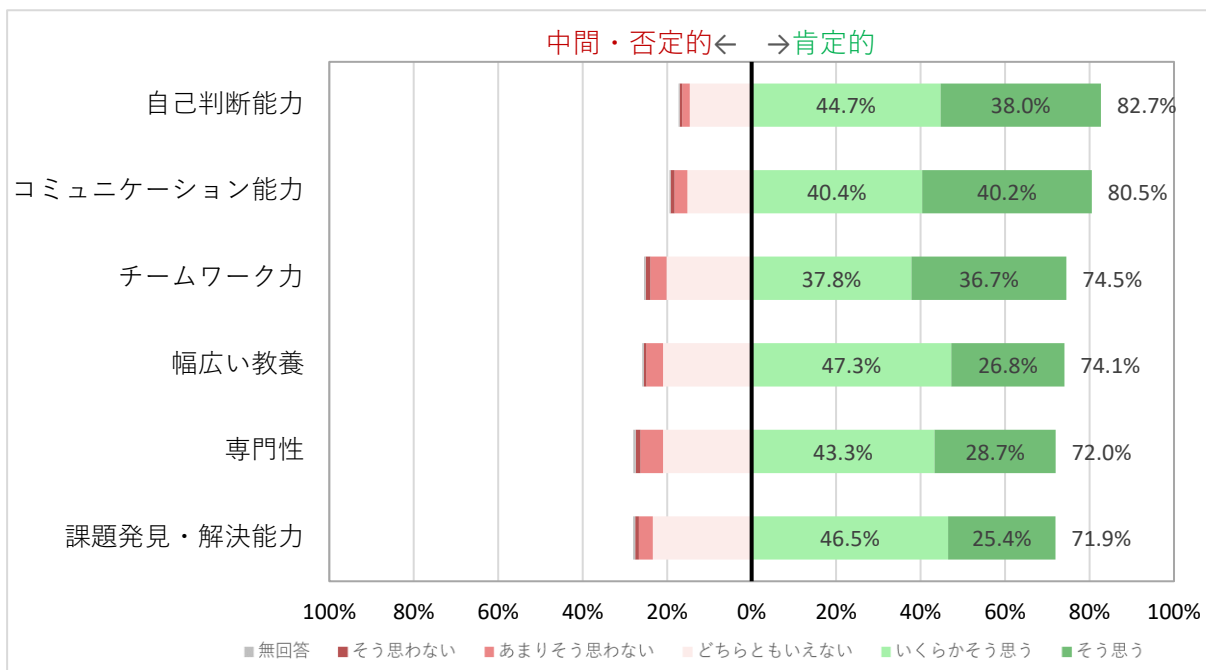


図 2.3.2 専門性（経年推移）

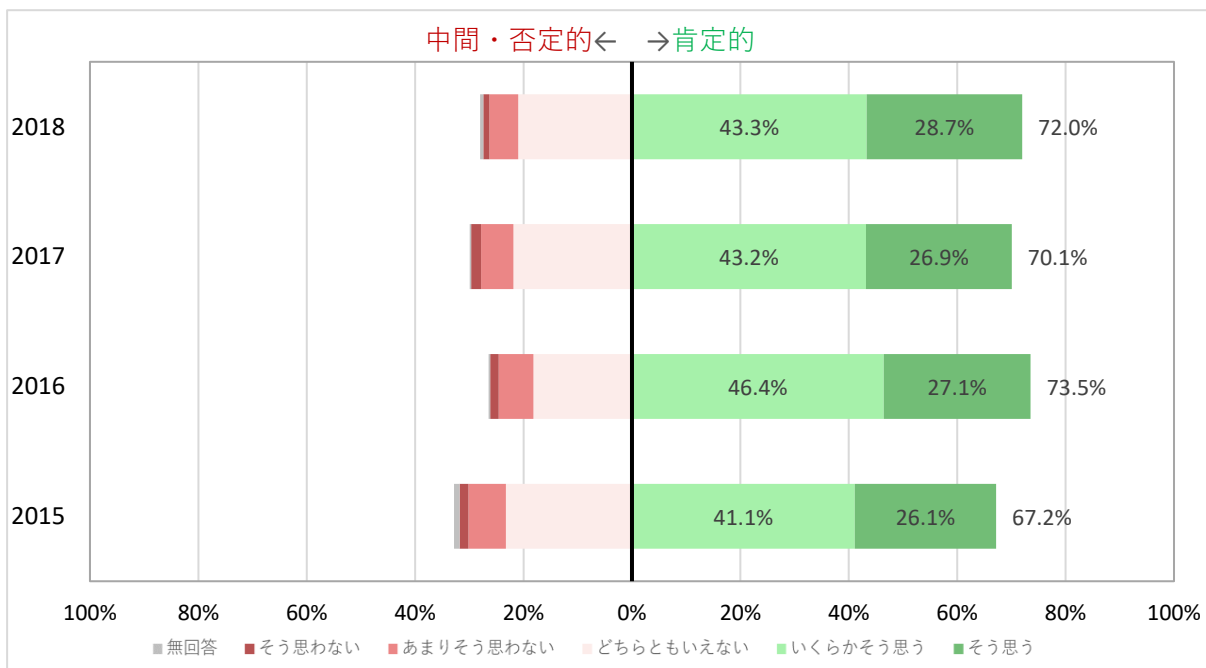


図 2.3.3 幅広い教養（経年推移）

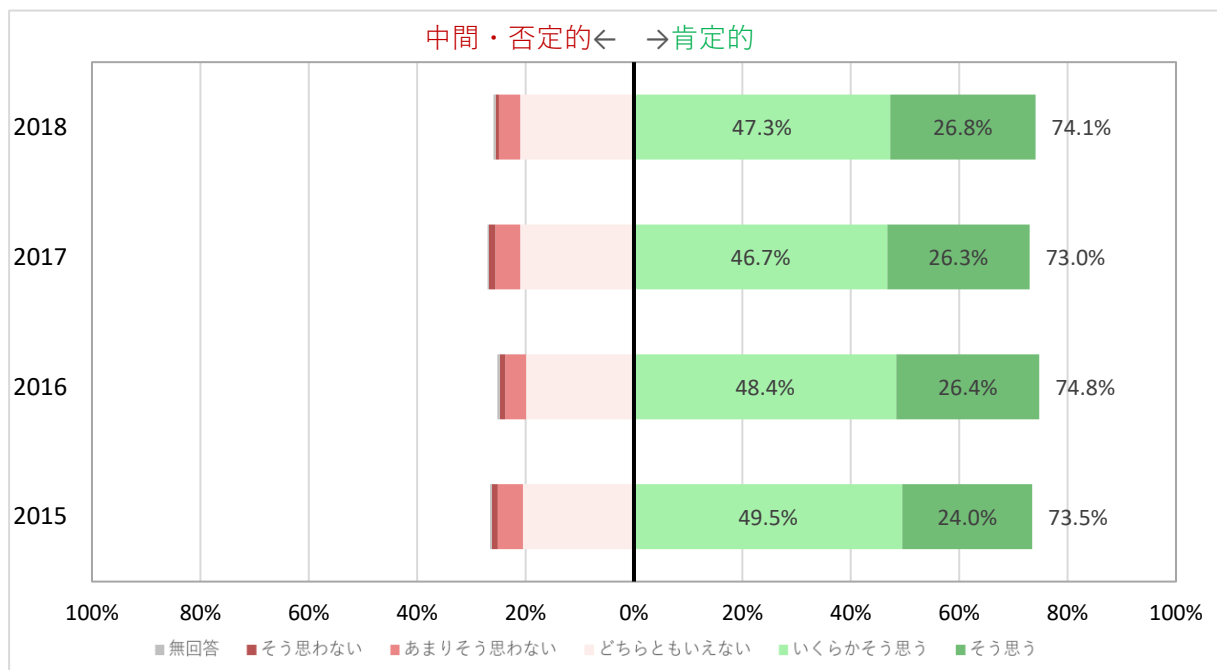


図 2.3.4 課題発見・解決能力（経年推移）

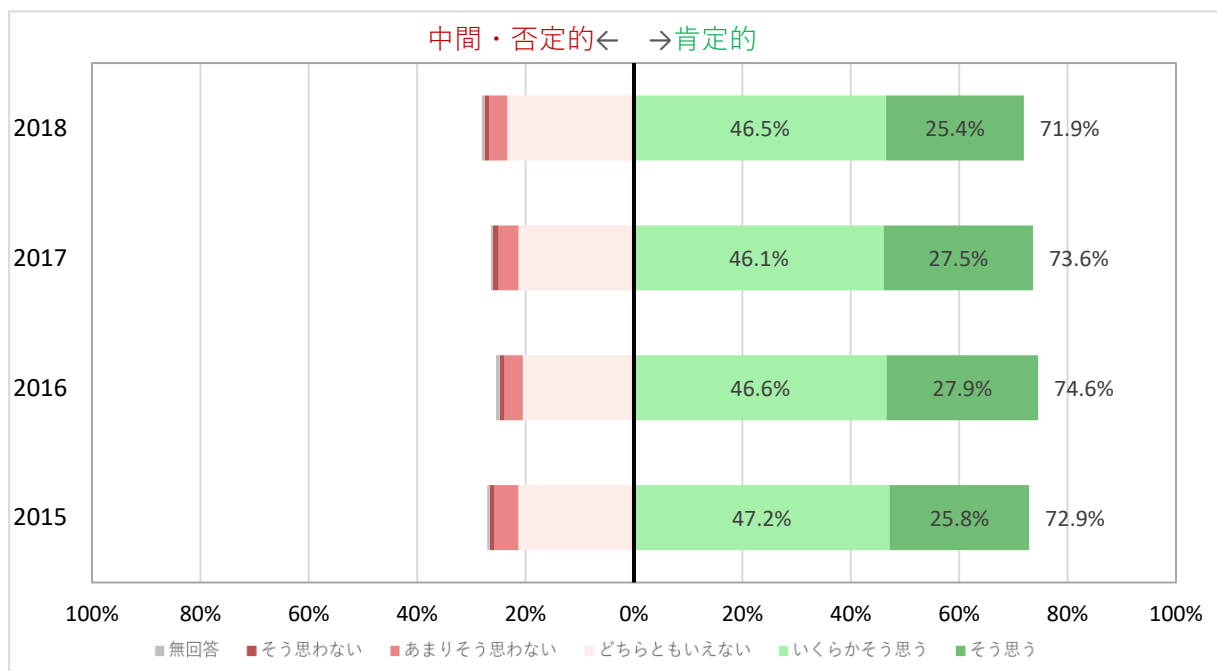


図 2.3.5 コミュニケーション能力（経年推移）

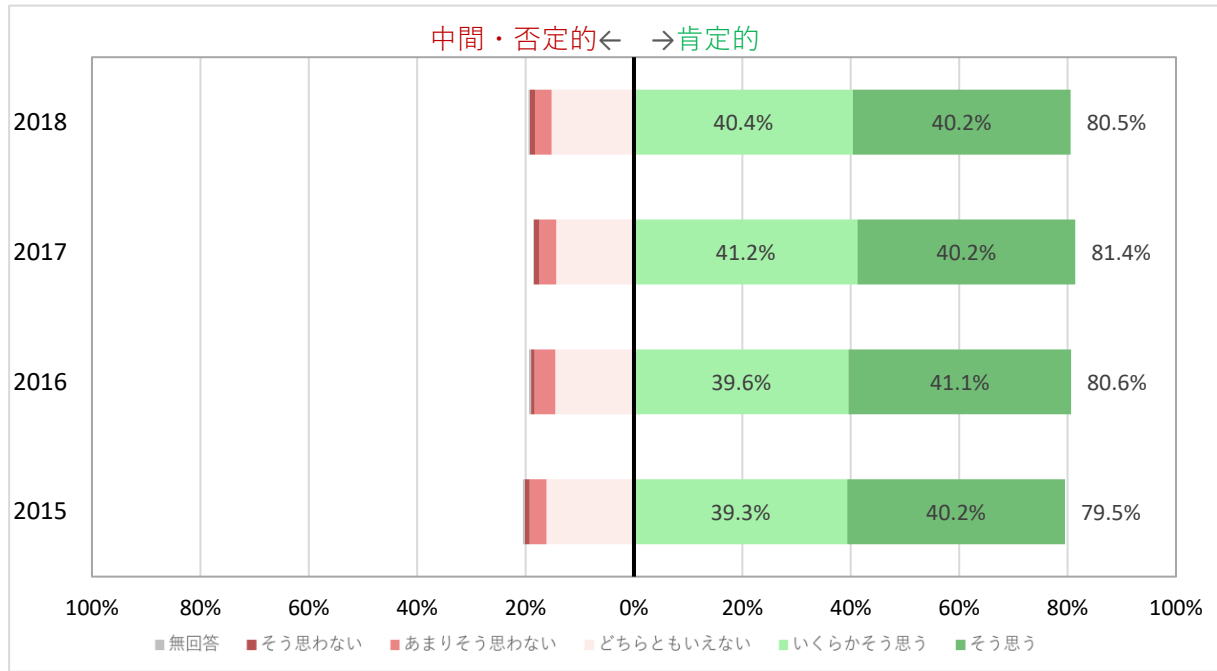


図 2.3.6 自己判断能力（経年推移）

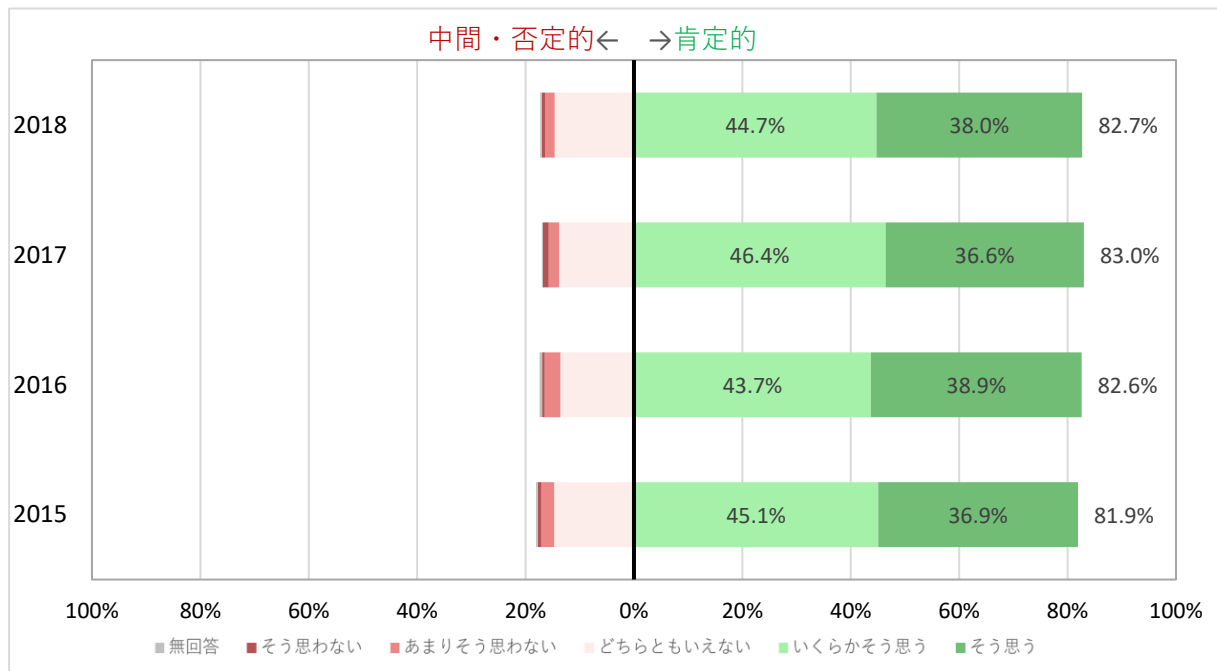
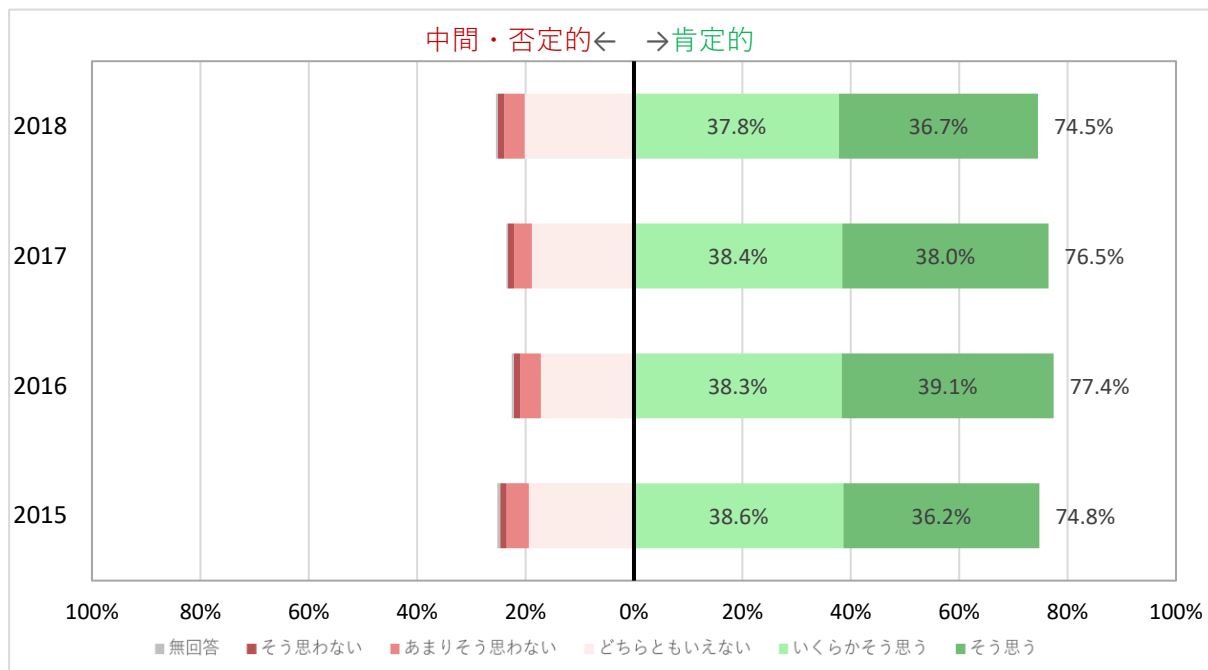


図 2.3.7 チームワーク力（経年推移）

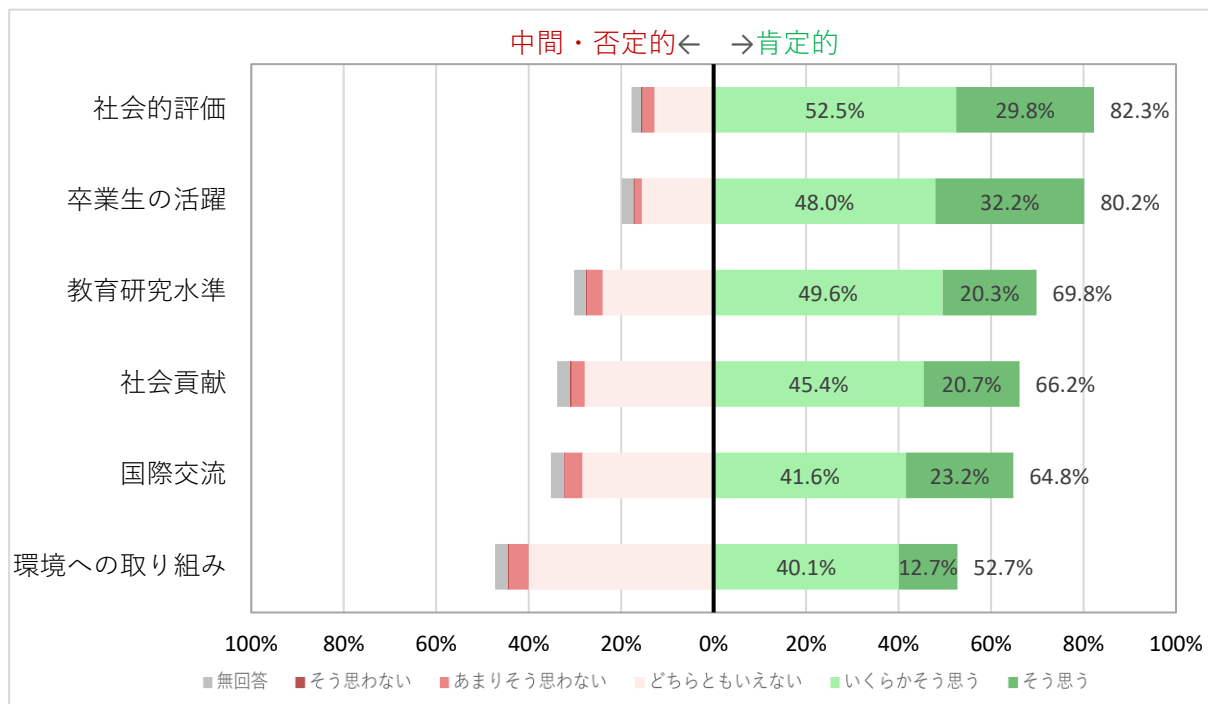


2.4 法政大学の評価（イメージ）

図 2.4 は、「法政大学は社会からどのように評価されていると思いますか」との質問に対する肯定的回答（「そう思う」＋「いづらかさそう思う」）の推移を示している。

肯定的回答が多い順に、「社会的にも高く評価されている」（82.3%）、「卒業生は社会的に活躍している」（80.2%）、「教育研究水準は高い」（69.8%）と続いている。

図 2.4 法政大学の評価（2018 年度 降順）

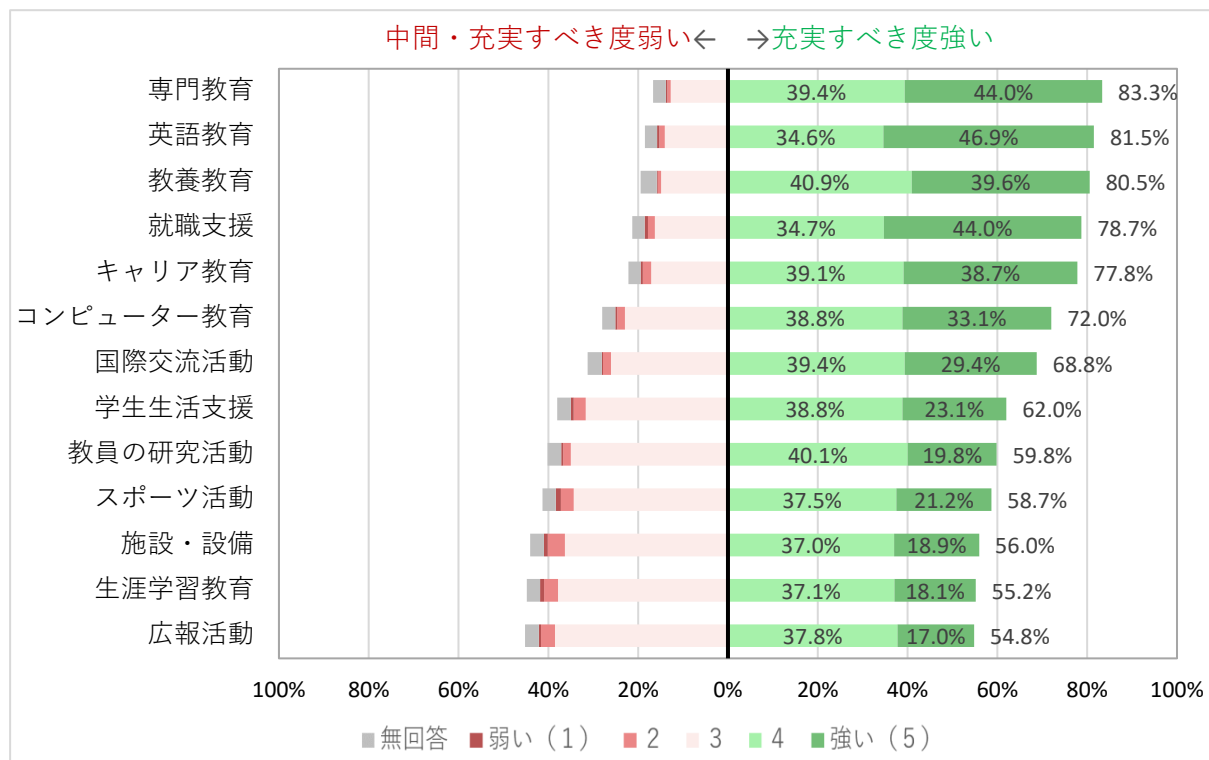


2.5 本学が今後さらに充実すべき点

図 2.5 は、「法政大学が、今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか」との質問に対する各項目の充実要望度の強さ（「強い (5)」+「4」）を示したものである。

充実要望度の高い順に、「専門教育」(83.3%)・「英語教育」(81.5%)・「教養教育」(80.5%)・「就職支援」(78.7%)・「キャリア教育」(77.8%)と続く。これらの充実要望度が高い背景には、教育と就職に対する保護者の関心の高さがあると思われる。

図 2.5 本学が今後さらに充実すべき点 (2018 年度 降順)



2.6 情報提供について

図 2.6.1 は、「法政大学からの情報提供に満足していますか」との質問に対する肯定的回答（「満足している」＋「やや満足している」）の推移を示したものである。

2018 年度は前年度より 3.3%ポイント上昇し 77.2%であり、過去 3 カ年度に比べ肯定的回答の割合が高い。

続いて、図 2.6.2 は、「どのような種類の情報をもっと発信すればよろしいでしょうか」との質問に対する項目ごとの要望度の強さ（「強い（5）」＋「4」）を示したものである。

「就職関連」の情報発信要望度が 78.5%と最も高く、それに「学習成果」（66.7%）、「教育内容」（66.7%）に関する情報発信要望が続いている。

図 2.6.1 情報提供の満足度（経年推移）

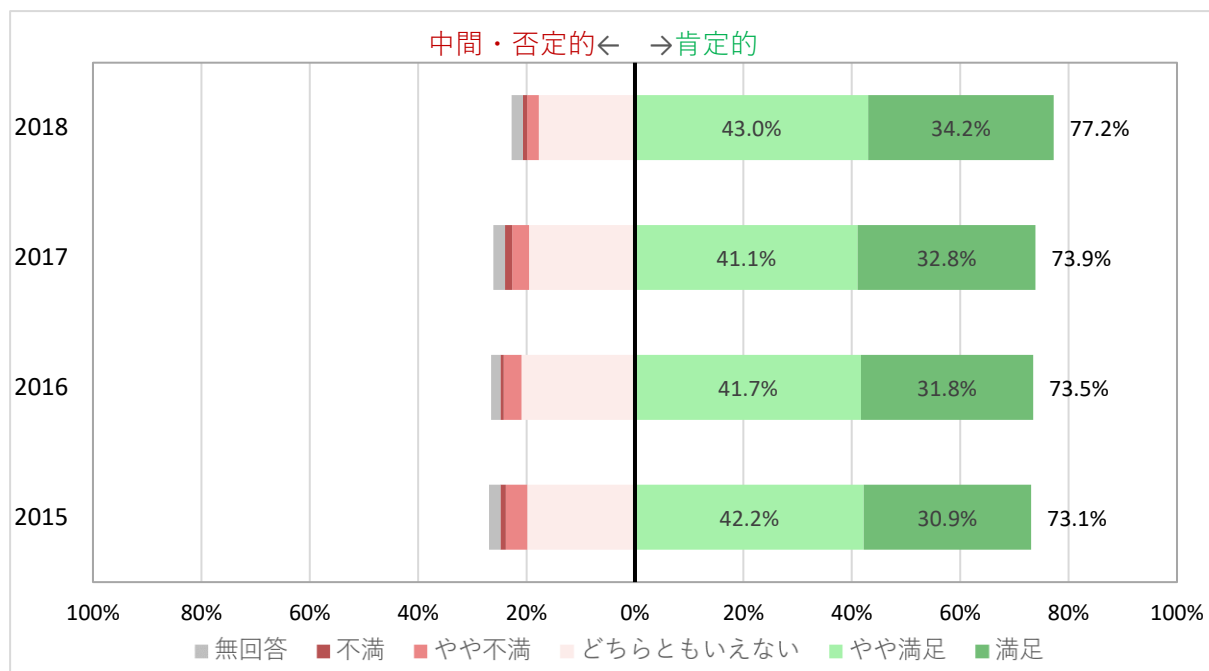


図 2.6.2 さらに発信を望む情報（2018 年度 降順）

